

矢巾北中特設駅伝部 全国中学校駅伝大会へ

矢巾北中学校特設駅伝部は12月15日、滋賀県で開催される「第27回全国中学校駅伝大会」（49チーム出場予定）に初めて出場する。同部は4月21日に行われた、盛岡市内一周継走大会で準優勝したことで、全国大会出場を視野に入れた。その後、10月4日に行われた県中学校駅伝大会で、初優勝を果たし、全国への切符を手にした。大会まで残り2週間。目標としてきた舞台に挑む選手たちへ、意気込みを聞いた。



●佐藤美咲主将（3年）

チーム全員が、県大会優勝という目標に向かって努力を続けることができた。みんなが気持ちを一つにして、取り組んできたからこそ、全国大会出場を決められたと思う。全国では堂々と、矢巾北の走りをしたい。

●立花姫星々（3年）

県大会では、最初は積極的に走ることができたが、

後ろの選手に抜かれた後、先頭集団について行けず、課題の残る大会だった。全国大会では、3年間やってきた成果をしっかりと発揮したい。大会に出場できない仲間のためにも、結果を残したい。

●安ヶ平優衣（2年）

昨年は県大会にさえ出場することができず、悔しい思いをした。全国大会では、

後半でもペースを維持できるように、練習に取り組んでいる。「全国20位以内」という目標を達成できるように、全力で頑張りたい。

●加藤萌愛（2年）

今年初めて大会に出場することができた。県大会では3位でたすきを受け、1位まで上がってから次になぐることができ、良かった。先輩たちと出場できる最後の大会。自分が成長した姿をみせ、感謝を伝えられるような走りをしたい。

●立花来星々（1年）

県大会は緊張したが、1位でたすきを受け取り、終盤にペースは落ちたが、自分の走りができた。レースの最後まで速さを保てるよう体力を付け、全国でも自分らしい走りができるよう頑張りたい。

●三並雛乃（3年）

県大会で優勝できたと、今までやってきて良かったと実感した。次が最後の大会。後悔のないよう、全力で取り組みたい。



⑧



④

矢中北中特設駅伝部の生徒は、他の運動部に所属しながら練習や大会に臨んでいます。写真と合わせて、生徒らが所属している部も紹介します。

【写真解説】

①～⑤全国中学校駅伝大会に向けて、学校前で練習やミーティングを重ねる選手らと中館義広監督 ⑥、⑦県中学校駅伝大会のスタート・ゴール場面（矢中北中提供）⑧全国大会に出場する矢中北中特設駅伝部の前列左から、三並雛乃（ソフトボール部）、佐藤美咲主将（陸上部）、立花姫星々（同）、後列左から立花來星々（同）、佐藤優香（バスケットボール部）、安ヶ平優衣（ハンドボール部）、加藤萌愛（陸上部）、馬内凜心（ハンドボール部）

※かっこ内は他に所属している部活動



⑤



⑦



⑥

勝たないと見えない世界がある。全国大会への出場は、選手たちが自分自身で勝ち取った権利。大会を終えて「やり切った」と感じられるよう、思う存分、楽しんでほしい。

立つことに意味がある。才能に恵まれた生徒もいれば、こつこつと努力を積み重ねて力を伸ばしてきた生徒もいる。そういった子どもたちが、全国の舞台に立つことに意味がある。

盛岡市内一周継走での「2位」という結果に、悔しがる選手たちの姿を見て、全国への道筋が見えた。

中館義広監督の話

佐藤優香（1年）
県大会で走ることはできなかったが、メンバーになれるよう、これからも頑張っていきたい。

馬内凜心（1年）
県大会では、先輩たちや同級生が走っている姿を見て「かっこいい」と思ったし、優勝できたことを誇らしく思えた。